

第 190 内容紹介

1 , 声明「イスラエルによるイラン先制攻撃を非難する」

一方的な先制攻撃の口実はなりたたない。イランにも自制を求める。

2 , 鈴木頌「トランプの平和ポーズの破たん」

トランプは、かつて北朝鮮で裏切ったように、ウクライナで、中東で世界を裏切った。ウォーモンガー（好戦主義者）たちの命じるままにウソをついた。もうトランプ劇場は終わりだ。

3 , B・ノートン「イランへの先制攻撃はアメリカとの共同作戦」

アメリカ政府はこの攻撃を支援し、情報を提供し、ネタニヤフ首相とともに計画を練った。ドナルド・トランプは、テヘランとの核交渉を隠れ蓑にし、アメリカとイスラエルの共同作戦を監督した。

4 , イラン国連代表「イスラエルはレッドラインを超えた」

安保理での演説。先制攻撃された施設は、国際原子力機関（IAEA）の保障措置の下で運営されている国際法上正統な施設であり、攻撃は違法。

5 , アルマヤディーン「イランの報復攻撃が首都中心部を直撃」

イスラエルの情報機関やモサドの拠点を攻撃。イランのファルス通信が報じるイスラム革命防衛隊（IRGC）発表による自衛反撃作戦の状況。

6 , テレスル「超音速ミサイルでイスラエルへの航空優勢を示す」

イスラム革命防衛隊（IRGC）は、精密兵器の技術革命とされる極超音速ミサイル「ファッター1」を使用した「真の約束 III」作戦の第2波を実行。この後、イスラエル領内の航空優勢を確立したと主張した。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます（[aala news の編集日記](#)
[\(livedoo n a 愛用紹介 r.jp\)](#)）